

KAIKE PRESS

皆生温泉のこれからを伝えるメディア
「カイケプレス」

2023 Aug. 17

第17号／令和5年8月発行



特集 ぺちゃくちゃかいけ公開収録 -これからどうする?皆生- もっともっと心地よい皆生温泉を目指すキックオフ議論を完全収録!!

公共空間や、使用頻度の低いもったいないスペースなどを、有効活用する活動が活発化する皆生温泉。次のステップとして、皆生温泉エリア全体の居心地の良い空間整備についてのあり方の議論をスタートするため、キックオフミーティングを公開収録形式で開催しました。(当日の様子をより多くの方にお届けできるよう、冊子化等を行うため公開収録としました)今回のカイケプレスでは概要をお伝えします!!

・服部 彰氏 札幌大通まちづくり株式会社 取締役事業部長
・伊坂 明氏 皆生温泉エリア経営実行委員会 会長(株式会社皆生グランドホテル 代表取締役)
・坂内 和孝氏 皆生温泉エリア経営実行委員会 副会長(皆生温泉観光株式会社代表取締役)
・上保 裕典氏 株式会社中海テレビ放送Chukaiトライセクター・ラボ ラボ長
・永井 高幸氏 かいけラボ共同事業体 代表(株式会社エースト 代表取締役)
・伊木 隆司氏 米子市長
・山下 裕子氏 まちなか広場研究所 主宰

去る8月4日(金)夕方6時半。日が暮れ始めてもまだ暑い夏の夕方、米子市観光センターの2階で、「ぺちゃくちゃかいけ公開収録-これからどうする?皆生-」はスタート。皆生温泉に暮らす近所の方や、行政の方、皆生温泉ではたらく方など50人近くもの多様な聴衆の方々に来場もいただきました。

パネラーたちはそれぞれの専門分野や経験を活かし、具体的なアイデアや提案を交えながら



活発な議論を交わす伊坂氏。

ら、皆生温泉の活性化と魅力向上に向けての方策を検討してきました。

服部氏は、札幌大通まちづくり株式会社の取締役事業部長として、地域づくりの成功事例を共有し、皆生温泉エリアの活性化に向けた手法を提案。その話を受けた伊坂氏や坂内氏、上保氏からは、地域の観光資源を最大限に活用する戦略についての意見が様々飛び出し、熱い意見交換が成されました。

伊木隆司氏は米子市長として、勉強会の立ち上げから、ビジョン作成を行ってきて、現在のエリア経営の動きがでてきたことを紹介。今後はこの動きを加速させる法人化・収益化に期待しました。また、今後の課題としては、休憩できる場所の不足を挙げ、「滞在やゆったりとした時間を過ごせる場所を増やすことが大切。それ

予約で確実! 便利!!
エリア内100台以上!!!
皆生温泉で遊ぶなら駐車場はアキッパ!!

〈広告募集中〉このスペースでお店や会社のPRしませんか 毎月4,000部発行

が、訪れる人々のリピーターとしての体験を深化させ、地域の魅力をさらに高める鍵となる」と、居心地の良い空間づくりの重要性を強調しました。かいけラボからは、代表の永井が参加し、持続可能な地域づくりに向けたプロジェクトを紹介し、環境と共生するコンセプトを示しました。

こうして様々な意見が交わされ、今回の公開収録は、皆生温泉の未来に向けた有意義な議論のスタートとなりました。特に、収録の最後には2030年までの長期スケジュールも示され、地域の発展と魅力向上に向けた具体的なアクションが期待されるものとなっています。ぜひ、具体的な収録内容をご覧いただき、今後の動きに關わってみてください!!



札幌のまちづくりに関する具体的な事例を交え、貴重な議論をして頂いた服部氏。

きてみてカイケ



9月・11月・1月は 「おためしかいけ」!!

もともとは実験的な取り組みとして始まったぐるぐるかいけ。もう少し、実験できることがあるのでは?というところから、色々なことを「試してみる」おためしかいけとして、第1回目は9月24日に開催予定です!最新情報はSNSで発信します!

皆生温泉空き物件ツアー&まちあるき

9月24日[日] 15:30 - 17:00



参加費:無料
定員:10名程度

皆生温泉エリア内にある「気になる空き物件」をめぐるツアーを開催します。皆生で出店場所を探している方、皆生の町が好きで、街歩きしてみたい方などなど。たくさんの方のご参加お待ちしております。
お申込みはコチラ →



水一広場9月開催! スイッチインタビュー

9月6日[水] 17:00 - 20:00

場所: メルカド皆生(旧きないや跡地)
内容: 9月からの水一広場は、皆生にかかる方をゲストにお招きし公開インタビュー!!
皆生に対する「現在・過去・未来」とは…?
会場で飲食や交流をしながらお楽しみください!

トピックかいけ

カイケエリアデザインスクール2023

Koike
ore
Design
school



皆生温泉が舞台のまちづくりの学校が今年も開講。
まずは「おみせ」「ものづくり」の2テーマから。

地域に開かれた温泉街を目指す皆生温泉。昨年からはじまった「カイケエリアデザインスクール」を今年も開講します。「おみせ」のテーマでは、皆生のイベント等で出店を目指す方や、ミニ屋台を持ってまちを楽しむ人を募集します。「ものづくり」のテーマでは、こうなったら皆生はもっと居心地良くなるかも、と妄想しながら仮設のストリートファニチャーをつくってみます。気になった講座だけ参加するもよし、連続で参加してしっかり学ぶもよし。皆生を舞台に、まちの楽しみ方を学ぶ「カイケエリアデザインスクール」にぜひご参加ください。

定員
各回10名程度
※各回のみの参加も可

受講料
各回1000円
※一部学割あり

会場
米子市観光センター

A

「おみせ」のスクール

#お店はじめてみようかな #お店は無理、でもイベント出てみたい #子どもに屋台させてみたい

A-1

9.24
10:30-
12:00
(日)

きく・はなす
「おみせをするって何だろう?」

お店の語源は「見せること」。
それぞれの方法で「おみせ」を実践する
三名による鼎談です。

お医者さんなのに屋台を出す、鳥取大学医学部 孫大輔さん
本屋を自分で一からついた、汽水空港 モリテツヤさん
「一人一屋台」を提唱する、カモメ・ラボ 今村謙人さん

A-2

9.24
13:30-
15:30
(日)

つくる・ためす
「マイ屋台をつくってみる」

首から下げる小さな屋台をつくる
ワークショップ。好きなものをせて、
カスタマイズしてまちに
出てみよう。

講師 | カモメ・ラボ 今村謙人さん
※材料費が別途かかります。

A-3

10.9
15:00-
16:30
(月)

つくる・ためす
「マイのれんをつくってみる」

シルクスクリーンでのれんをつくるワーク
ショップ。お店の名前を決めて、ロゴを
決めてマイのれんをつくろう。

講師 | twopersさん
※材料費が別途かかります。

A-4

10.22
15:00-
16:30
(日)

きく・はなす
「教えて、おみせのリアル」

お店をするって何が必要?私でもできるの?
いろんな形でお店をしている先輩たちによる
ぶっちゃけトークです。

自宅で菓子製造などを行う、mochiさん
固定店舗は持たずイベントに出店する、mahaloさん
海の家で大人気、HATONO BURGERさん

B

「ものづくり」のスクール

#「パブリックハック」にピンときた #ファブラボに興味あり #子どもにものづくり体験させたい

B-1

10.14
10:30-
12:00
(土)

きく・はなす
「楽しいまちの使い方」

まちは誰のものだろう。居心地の良い空間
づくりに携わる専門家によるトークです。

個人のまちへの関わり方を示す
『PUBLIC HACK』著者、 笹尾和宏さん

土木と建築など分野を横断する、
株式会社設計領域 吉谷崇さん

B-2

日程
調整中

つくる・ためす
「制作!ストリートファニチャー」

皆生のまちにどんな設えがあると良いだろう。
仮設のストリートファニチャーを制作します。

講師 | 調整中

カイケエリアデザインスクール 2023

主催 | 皆生温泉エリア経営実行委員会 運営 | カイケラボ

エリア経営だより

このコーナーでは、毎月の「皆生温泉エリア経営実行委員会」定例会の内容を一部お伝えしていきます!まだまだ未定のこぼれ話も楽しんでくださいませ!!

《 今日は7月6日(水)13:00から開催された定例会より 》

「かいけラボ」での自主事業検討スタートを報告

今回のカイケプレスで報告した『べちゃくちゃかいけ』の中でも話題があつたように、より心地良いまちづくりを継続していくためには、様々な社会実験や取り組みそのものの重要性はもちろん、活動を続けていくための収益事業も重要です。とはいえ、単に収益が出てそれを原資に活動ができる…というだけで、まちと関係なく収益があればいいのでしょうか?「かいけラボ」では、温泉を活かした事業・公共空間を活かす事業・自然環境を活かす事業などなど、目的と手段が限りなく一致し、常に心地良いまちのために向かっている、そんな事業検討もはじめています!!委員会の場で報告させて頂きました。

井波地区(富山県南砺市)の視察を調整しています!!

「百聞は一見に如かず」…もっと心地良いまちにしていくためには、他地域の事例を見て・感じて・取り入れていくこともとても有意義なことです。今秋は、しっかりとしたビジョン設定をし、地域の資源を再認識し、心地良いまちづくりが加速している井波地区(富山県南砺市)への視察を準備しています。

連載インタビュー

カイケを動かす人

皆生温泉エリアで活躍する様々な
人へインタビューをしています。
今月は、

「ホットドックのお店 West Side」
若松美月さん

にご協力いただきました!!



「ここを起点に人が集まる場所!!」

インタビュア:若松さんのことやホットドック屋さんWest Sideについて教えてください。

若松さん:株式会社SEIKEN(鳥取県米子市大崎691-1)の飲食部門の若松美月です。SEIKENは足場の組立や解体作業をやっている部門と私の飲食部門があります。このホットドック屋をする前はパンの移動販売を飲食部門で運営してました。SEIKENで働くまでは10年間パン屋さんでパンを作っていました!

インタビュア:今まで移動販売のパン屋さんをされていたのに、なぜホットドック屋さんに?始めるきっかけについてお聞かせください。

若松さん:実は、社長がホットドックが好きというところから始まったんですよ(笑)社長からホットドック屋をやってみないかと言われて…最初は戸惑うことが多かったですが、同時に楽しい挑戦でもありました。•(つづきはwebで)

写真はトレーラーハウスを活用して、ペンキ
塗りなどDIYで行ったというお店の外観。
大変だったが、やりがいのある作業だったです。

カイケラボWebで
全文をご覧ください

